

菌興の ナメコ栽培

1. 使用できる原木

広葉樹全般

《よく発生する樹種》

サクラ類・シデ類・ナラ類
 シイ類・ヤナギ類・クリ
 カエデ類・ハンノキ
 ホオノキ・クルミ類
 コシアブラ・ヤマナラシ



2. 伐採・玉切り

《伐採時期》

秋の紅葉初期～翌春の新芽が出るまで

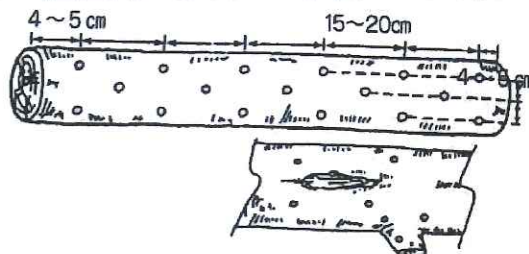
10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
-----	-----	-----	----	----	----	----

《葉枯らし期間》

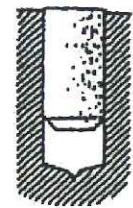
伐採した原木は枝葉をつけたまま若干乾燥させて、乾き過ぎないようにする。伐採、即玉切りも可。

3. 植菌

ナメコは、原木水分が多い方が活着、伸長が良い。原木が枯れすぎないうちに、早めに植菌をする。標準で1mに20～25個。多目に植菌すると1年目から発生する。



コマ菌 木口直径(cm)の3～4倍が標準



穴の深さは25mm程度

4. 伏せ込み

- ・伏せ込み場がそのまま発生場所になる。ある程度湿った林内、一般にはチラチラ光の入る雑木林、針葉樹の幼齢林を選定する。採取時を考えほだ木とほだ木の間隔をあけて伏せこむ。

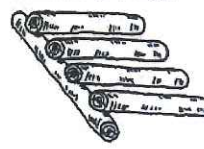
《伏せ込み方法》

本伏せ方法(一般)



接地伏せ

本伏せ方法(多湿地帯)



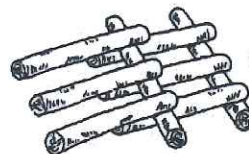
枕伏せ

本伏せ方法(大径木の短木)



横伏せ

本伏せ方法(過湿地帯)



低いヨロイ伏せ



立て伏せ

5. 発生～収穫

- ・ナメコは、独特のヌメリがあり、落葉が多い伏せ込み場は、発生前にほだ木の真上にネット等を張る。
- ・発生時期は2夏経過後の10月～12月(品種によって異なる)発生は1度に集中するのでこまめに見回り収穫する。菌糸が良く蔓延している場合は、植菌した年の秋に発生する。ナメコは木口や、ほだ木と地面の接地部にも発生し易い。
- ・9～11月に雨の少ない年は発生が少なくなるので、定期的な散水を行なう。ほだ木寿命は大径木5～6年、中径木2～3年。

《収穫》

- ・1株ごとに竹ベラなどで収穫し、傘のヌメリに付着した落葉などは水洗いして取り除く。
- ・ホダ木を動かすとナメコの発生が止まってしまうことがあるので、発生前後はほだ木を動かさない。

